

学生生活

キャリアアップ! インターンシップを振り返って

「相手の立場に立つ」ことを今後の生活で実践していきたい。

亀山 尚子さん

教育学部 生涯教育課程 生涯教育システム研究分野 4年
派遣先: 岐阜市生涯学習拠点施設「ハートフルスクエア-G」



私は8月23日から27日までの5日間、岐阜市の「ハートフルスクエア-G」という生涯学習拠点施設でお世話になりました。生涯教育実習(インターンシップ)に参加したのは、生涯学習の発展に関わる現場を実際に見てみたいと思ったからです。

私は施設内の図書館を日ごろから利用させていただいていました。大学で「現代の社会は生涯学習が重要視され、さまざまな実践が行われている」と学んだことから、これまで利用者として見ていた施設を運営する側の視点から拝見し、働いていच्छる人々の思いや願いに触れてみたいと考えました。

実習ではさまざまな体験をさせていただきました。市民の方々に配るための広告を折る際には、「普段何気なく見ていた催し物案内は、職員の方が一枚一枚丁寧に折っていらच्छったのか」と驚きました。図書館では、本の貸し出しと返却が一日中絶えず、本当に多くの方に利用されていることを実感しました。駐輪場でのアンケート調査では、要望やアドバイスなど、施設を利用している方々の生の声を聞くことができました。講座の受け付けをさせていただいた際には、職員の方が「いつもありがとうございます」と参加される方に笑顔で声をかけ、地域の方とのコミュニケーションを大切にされている姿を目の当たりにしました。最終日には車椅子に乗って施設内を回り、改善点を探し、実際に改善を行うという体験をさせていただきました。

これらの体験を通じて、職員の方々は「多くの人に快適に施設を利用してもらいたい」という願いを抱いて働いていच्छることがわかりました。私たち学生の意見も丁寧に聞いてくださり、うれしく感じました。地域の生涯学習の発展は、ここで働く人々に支えられていることに気づき、あらゆる場で人と人のかかわりが大切なのだということを学びました。実習での経験を生かし、「相手の立場に立つ」ことを今後の生活で実践していきたいと思います。

学生生活

どんな職に就いたとしても『考えて仕事をする』ことが重要。

的場 美汐さん

応用生物科学部 生産環境科学課程 動物科学コース 3年
派遣先: 姫路市立動物園



小さなころから、そして今も大好きな動物園ではどのような仕事が行われているのかを知りたいと、飼育士に憧れがあった私は迷わずインターンシップ派遣先に動物園を選びました。

実際に体験した業務内容としては給餌準備・給餌や飼育舎の清掃が主でしたが、ほかにもゾウの調教の見学や飼育動物に関する看板作成、保護鳥の強制給餌など、一般の来園者では絶対にできないような本当に貴重な体験ができました。体験のひとつひとつが本当に面白く、今、教育の場として、レクリエーションの場として、研究の場として、また野生動物保護の場として重要な位置を占めている動物園で働くことは本当にやりがいのある仕事だと感じました。

私が実習したのはほんの数日間だったのにもかかわらず、今年の暑さもあり、その疲労は本当に大きなもので、毎日働いている飼育士の方々はどうなにか大変なのだろうと何度も思いました。そんな中で、ある飼育士さんが教えてくださったことが『考えて仕事をする』ということです。考えて仕事をすることで「労働力も少なく、また、早く仕事を終わらせることができるんだ」と。その労働力と時間を、最も重要な動物の観察(病気や怪我をしていないかなど)にまわすともおっしゃっていました。

『考えて仕事をする』というのは、簡単なようで本当に難しいことだと思います。例えば、道具の使い方ひとつにしても、よく考えてうまく使った人と、何も考えずに使った人では、その道具を使って行った仕事の量の差は歴然でしょう。私は将来どんな仕事に就くかはまだはっきりと決めていませんが、『考えて仕事をする』というのはどんな職に就いたとしてもとても重要なことだと思います。働くということの面白さ、それに反しての難しさや厳しさ、そして、それをどう自分なりに余裕を持ってこなしていくかということまで学べた、私のこれからの人生に大きな影響を与える実習になりました。

